

## 福永 凌太（ふくなが りょうた）選手 プロフィール

現所属 : 日本体育大学大学院  
 生年月日 : 1998年9月28日 (26歳)  
 出身地 : 滋賀県 野洲市  
 競技 : 陸上競技 (クラス\* T13)



## ※クラス分けについて

アルファベットは種目、数字は障がいの種類と程度を示している。

T: 視覚障がい

11~13: 視覚の機能に関する障がい

- 経歴
- ・難病である錐体ジストロフィーにより、小学校4年生頃から目が見えづらくなっていく。
  - ・両親に勧められ陸上競技を始め、中学高校では棒高跳びに励んだ。その後中京大学に進学し、十種競技をメインに健常者の大会で優勝を目指し、日本のトップレベルの選手らと練習した。
  - ・陸上競技人生に区切りをつけようとしたところで母からパラリンピックについて聞く。社会人1年目で初めてクラス分けを受け、視覚障がい (T13) クラスの400mなどで日本記録を持つ。

## 【主な成績】

- ・2024 パリパラリンピック
  - 男子400m (T13) 銀メダル
  - 男子走り幅跳び (T13) 7位
 神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会 (神戸)
  - 男子400m (T13) 2位
- ・2023 パリ2023世界パラ陸上競技選手大会 (フランス)
  - 男子400m (T13) 1位

## 【参考：一般社団法人パラ陸上競技連盟 分かりやすいクラス分け】

T/F11~14: 視覚障害	
クラス	クラス説明
T/F11	全盲から視力0.0025未満。 競技中は両目を不透明なゴーグルなどで覆う。 競技では「伴走」や「コーラー」と一緒に競技する。
T/F12	視力0.0025から0.032までのもの、または、視野直径が10度未満のもの。競技では、「伴走」や「コーラー」と一緒に競技することもある。
T/F13	視力は0.04から0.1までのもの、または視野直径40度未満のもの。
T/F14	視力または視野に上記に該当しない障害のある身体障害者手帳を取得しているもの。(国際大会のクラスに該当しない)

※視力は、矯正視力の良い方の目で判定